

高岡市立成美公民館

◆事業の目的

季節ごとの自然体験活動を通して、家族とふれ合い、思いやりの心や美しいものを愛する心を育てる。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月29日 (日)	二上山の春を楽しもう (イニシアティブゲーム、マイ箸作り、野外炊飯)	二上まなび交流館	24名
8月7日 (日)	国分海岸の夏を楽しもう (海辺の生き物の観察、トコロテン作り、石絵)	国分浜海岸 T氏家前庭	23名
11月6日 (日)	親子で半日バス旅行(餅工場見学、養魚園見学、JOMONパークで勾玉作り)	おいほら餅店 成田養魚園 JOMONパーク	23名

◆事業の様子

☆二上山の春を楽しもう(ゲーム、マイ箸づくり から)

あいにくの雨に見舞われ、予定の登山ができなくなったが、体育館で行ったイニシアティブゲームは、楽しみながら家族の絆を深め参加した親子同士も交流することができた。マイ箸づくりでは、慣れない小刀を使い、親に助けられながら真剣に竹を削る姿が見られた。出来上がったマイ箸を早速使い、親子でうれしそうに昼食をほおばっていた。



☆国分海岸の夏を楽しもう(トコロテン作り から)

見学するのも体験するのも初めての人がほとんどだった。原料の天草をさわったり、においをかいだりした後、鍋で溶かす様子を熱心に観察していた。最後に自分で突き出したできたてを口にした時には、親も子も笑顔で自然の豊かな恵みに舌鼓を打っていた。



☆親子で半日バス旅行(餅工場見学 から)

初めてバスに乗っての体験活動であった。餅工場の見学は、どの親子も初めてであり、蒸したもち米のおいしそうな香りの中、熱心に説明に耳を傾けながら見学した。特に包装の行程では、次々と生産される菓子を食い入るように見つめ、「おいしそう」と大きな歓声を上げていた。



◆事業の成果と課題

子どもたちがふるさとの自然と触れ合い様々な体験をする中で、豊かな感性をはぐくんでほしいと考え企画した。実践してみると、活動を通して家族の絆を深め、参加家族同士の交流も生まれるなど、人とのふれあいという面でも成果があったように思う。